



令和2年9月30日
アジア低炭素化センター
(北九州市環境局環境国際戦略課)

報道機関各位

環境省公募事業に採択、市内企業の海外ビジネス展開を加速！

アジア低炭素化センターは、平成22年6月設立以来、市内企業等の海外展開を積極的に支援しており、これまで118社と連携して国等の資金を活用した調査・実証を218件実施しています。

このたび、市内企業の九州メタル産業株が環境省「令和2年度我が国循環産業の海外展開事業化促進業務」を活用し、新たに環境ビジネス案件の支援を行うことが決まりましたので、お知らせします。

記

令和2年度我が国循環産業の海外展開事業化促進業務 採択案件一覧表

| 上段：【国・地域】 / 件名 | 下段：◎実施主体、○共同実施者 |
|--|--|
| 【マレーシア・マレーシア半島西海岸都市等(クアラルンプール、ペナン、ジョホール等を含む)】 マレーシアにおける廃自動車100%リサイクルに向けた最適化検討事業 | ◎九州メタル産業株式会社 ○北九州市・アジア低炭素化センター、株式会社エヌ・ティ・ティ・データ経営研究所、 AZUSA SE&E(HK)Co., Ltd、BPJ-Berjaya Sdn. Bhd. |

【問合せ先】北九州市環境局環境国際戦略課 アジア低炭素化センター
担当課長：有田、担当係長：安武（電話：093-662-4020）

令和2年度我が国循環産業の海外展開事業化促進業務
マレーシアにおける廃自動車 100%リサイクルに向けた最適化検討事業

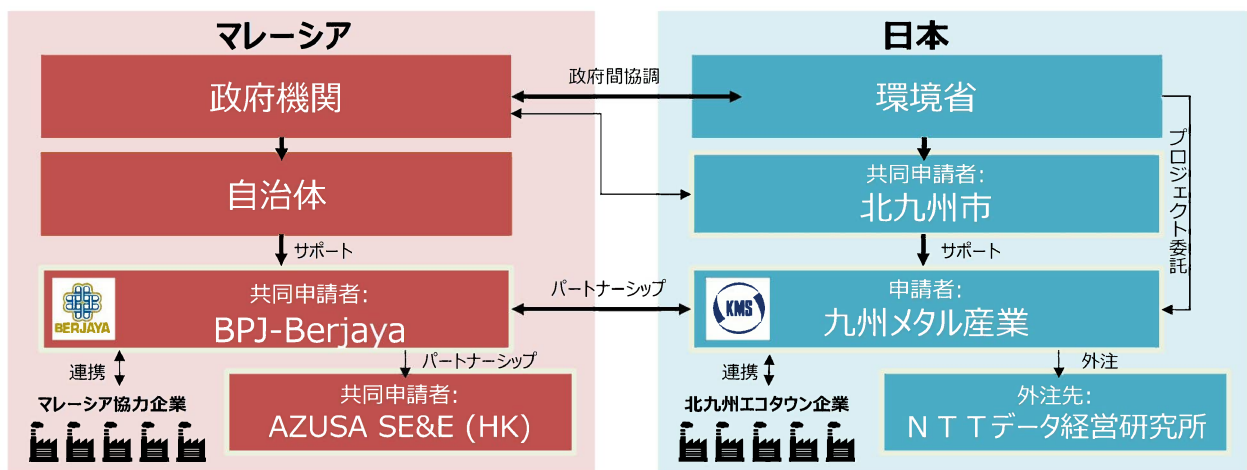
1 実施者：九州メタル産業(株)、北九州市、(株)エヌ・ティ・ティ・データ経営研究所
BPJ-Berjaya Sdn. Bhd.、AZUSA SE&E(HK)Co.,Ltd

2 事業概要

マレーシア半島西海岸都市等を対象に九州メタル産業(株)と BPJ-Berjaya で、放置自動車等の廃自動車や各地域の廃車を入荷し、解体・破碎選別を中心とした適正リサイクル自動車事業を実施する。

現地の日系・Berjaya グループのセメント原燃料化会社、セメント工場、金属リサイクル会社等と連携し、廃自動車の 100%再資源化を予定する。

3 実施体制



4 マレーシアについて



- ・首都：クアラルンプール
- ・人口：約 3,200 万人（2017 年マレーシア統計局）
- ・面積：約 33 万平方キロメートル（日本の約 0.9 倍）
- ・在留邦人数（外務省・海外在留邦人数調査統計）：
24,411 人（2017 年 10 月現在）
- ・日本の援助（2016 年度までの累計）：
有償資金協力：9,760 億円、無償資金協力：146 億円、
技術協力：1,168 億円（JICA 経費実績ベース）

5 BPJ-Berjaya Sdn. Bhd.について

1984 年にヴィンセント・タン氏により創業されたマレーシアを代表するコングロマリット企業である Berjaya Corporation のグループ会社であり、事業は不動産業、株式仲買業、環境・ホテル事業、環境業、ゲーム事業、自動車販売業、食品・レストラン事業等多岐にわたり、日本では「フォーシーズンズリゾート&プライベートレジデンス沖縄」や「横浜みなとみらい 62 街区グローバルラグジュアリーホテル」等の開発計画・経営等を手掛けている。